

とうきょう すくわくプログラム活動報告書

幼稚園・学校番号	1 2 7 6 4 3 3
施設名（園名等）	江戸川めぐみ幼稚園

1. 活動のテーマ

<テーマ>

アスレチック

<テーマの設定理由>

当園では専門講師のアドバイスを受けながら園児が運動用具に興味を持ち、体操への興味が持続することで体を動かす楽しみを覚えてきました。主体的に取り組むことによって運動能力が向上し、心身ともに健康な子どもに育つ教育上の効果が期待されるため、運動用具を使って取り組む「アスレチック」をテーマとして設定します。

2. 活動スケジュール

4月（遊具に興味を持つ）

- ・ミニボルダリングや綱のぼり、うんてい等の遊具を使い、自力で登る、降りるをして達成感を知る。

5月（平均台に興味を持つ）

- ・平均台を2つつけて、その上を園児たち自身が考え横向きや静かに歩くなど考える。

6月（鉄棒に興味を持つ）

- ・鉄棒につかまってブランコ、曲げたひざを鉄棒に引っ掛けてコウモリ、腕支持か r 手首を返して身体を曲げるふとん干しなど、逆さ感覚を養いながら楽しむ。

7月（バルーン等に興味を持つ）

- ・たくさん空気を入れるために、どのように動いたら良いかを園児と考える。

9月（遊具に興味を持つ）

- ・園庭の固定遊具で手足の使い方や力の入れ方を考える。

10月（運動会に興味を持つ）

- ・音楽に合わせて踊ってみたり、子ども同士で組体操を考えてみたり、クラスでリレーの順番を考える等、園児主体で運動会をプロデュースして楽しむ。

11月（跳び箱に興味を持つ）

- ・登って降りる、登ってジャンプする運動や、段を増やしていく達成感を味わう。

12月（縄跳びに興味を持つ）

- ・縄を好きな形にしてお家にしたり、縄を半分や1/4に折りバイクや自転車にしてで興味を持たせる。

1月（マットに興味を持つ）

- ・マットの上を動物になりきって歩行して遊んだり、寝返りを打つように回って遊ぶ。

2月（ボールに興味を持つ）

- ・ボールを投げたり、捕ったり、蹴ったり、ボールの特性を知り、楽しむ。

3月（ボールゲームに興味を持つ）

- ・ドッチボールといったボールゲームを楽しむ。ルールを伝えて一緒に考えていく。

3. 探究活動の実践

<活動の内容>

（道具・環境設定）

平衡台、マット、平均台、跳び箱、踏切板、鉄棒、巧技台、縄跳び、ボルダリング、ボール等

（活動中の子供の姿・声・子供同士や教諭との関わり）

- ・マット数枚を飛び越えるコースを園児たちが考え、「マットとマットの間に何か跳び乗れるものがあるといいなあ？」と問いかけて自発的な発言が出るようにした。「マットとマットの間に跳び箱を置く」との声があがり、マットとマットの間に置き、うまく飛び越えていくことが出来た。
- ・鉄棒では「難しいけどやってみる」とぶら下がったり、前まわりをしたが、「さっきよりよく回れたね」と声掛けをすると出来るようになっていく園児が多かった。「こうした方がやりやすいよ」など自分の経験を活かしてアドバイスしている姿があった。
- ・長なわとびでは「もっと跳べるようになるには？」と問いかけると、「高くジャンプする」「みんなと一緒にジャンプする」「待っているときもすぐにとべる準備をしておく」と思ったことを伝え合う中で共感し合ったりする姿につながっていた。



4. 振り返り

<振り返りによって得た先生の気づき>

活動を通して、体操専門講師のアドバイスを受けながら、園児たちが主体的に取り組むことを重視した活動を行った。マットや跳び箱、平均台ではマットの広さや跳び箱の高さを決めるよう促し、「小さいね」「もっと広くしよう」「跳ぶのが早すぎた！」などの発見をしていた。縄跳びでは前とび、後ろとび、あやとびの3つのグループに分け発表会を行うと、「手はやわらかく回すといい」「かかどが地面につかないほうがいい」等客観的にみることで、みんなで意見を出し合い、より跳べる方法を探究した。

これからもどうすれば出来るかを一緒に考え、園児たちが主体となって進めていけるように関わることを大事にしていきたい。